



SCUBAPRO

FINS

取扱説明書

Jet Fin Revo

■ JET FIN REVO の各部名称と脱着方法



着脱：ブーツをはいた足をフットポケットに入れ、かかとのややうえにフィン・ストラップをかけます。
脱着：フィン・ストラップをかかところからずらし、足を抜きます。

■ フィン・ストラップの長さの調節方法



① 金属製バックルに、フィン・ストラップを装着します。



② フィン・ストラップ先端を、金属製バックル中央の可動式金具の下側に通します。



③ フィン・ストラップの先端を、金属製バックル中央の金具の上側に折り返し入れます。



下の写真のように、フィン・ストラップに刻印された「Sマーク」が中央に位置するように、フィン・ストラップの左右の端の長さを必ず調整してください。フィン・ストラップの片方の端が他端に短いと、フィン・ストラップが金属製バックルからはずれ、事故をおこす危険があります。



⑤ フィン・ストラップ全体をしっかりと持ち、強く後ろに引っ張るようにして、金属製バックル取付口の上部にあくくほみ納まるように固定します。



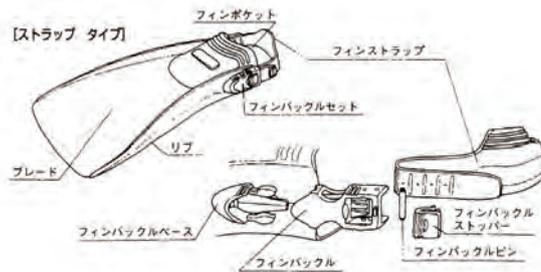
④ ブーツをはき、その足をフット・ポケットに入れ、最適な長さになるようにフィン・ストラップを引っ張り長さを調節します。



Jet Thrust Fin / Ellise Fin

■ フィン

フィンは脚力を使って、少ない力で大きな推進力を得ることにより、長時間効率よく自在に泳ぐ為の道具です。



■ ワンタッチバックルのストラップ交換方法

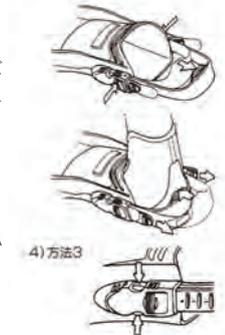
- 1) バックルベースの上下の爪部を押し、バックルが付いたままフィンストラップを本体から外します。
- 2) フィンストラップは、切断してバックルから抜き取って下さい。
- 3) バックルの上下の穴よりバックルストッパーの爪を押し、ストッパーを取り外します。
- 4) 図のように、フィンストラップの裏表（滑り止めギザの有無）に注意して、バックルに通します。
- 5) バックルにバックル付きストラップを戻し完了です。



■ ストラップフィンの脱着方法及び調整方法

フィンストラップには、調整用の番号表示があります。ご自分のサイズ番号を覚えておくと、装着時に便利です。

- 1) 装着は、まずバックルストッパーを押しながら、フィンストラップを一番伸ばした状態にします。
 - 2) フィンポケットの最奥部まで、つま先をしっかりと入れます。
 - 3) ストラップフック部を持ち、左右均等に引き、調整します。
 - 4) 脱く際の方法は次の通りです。
- 方法1- フィンストラップに指を差し入れ、強く引き下げ、外して下さい。
方法2- バックルストッパーを押しながらフィンストラップの中央側を引き、ゆるめ外して下さい。
方法3- ワンタッチタイプの利点を生かして、バックルベースの上下の爪部を押し、片側のバックルをバックルベースより抜き取り、外して下さい。



4) 方法3

Jet Fin

■ ジェットフィンの各部名称と脱着方法



スプリングストラップ標準装備タイプ、フィンストラップへの交換はできませんので、ご注意ください。

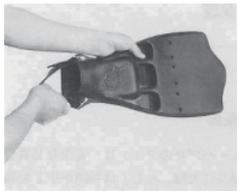
着脱：足をフットポケットに入れ、フィンストラップまたはスプリングストラップをかかとのやや上にかけます。

脱着：フィン・ストラップまたはスプリングストラップをかかとからはずし、足から抜きます。

■ フィンストラップの長さの調節方法



①フィンと体成型のストラップストッパーからバックルとストラップをはずします。



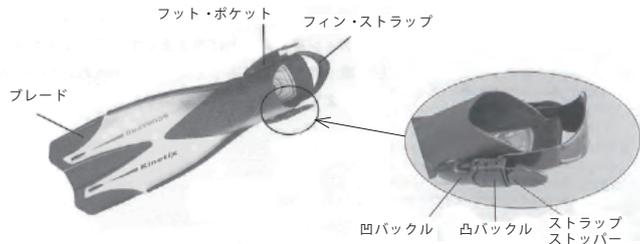
②フィンストラップ内側のノッチをずらし、フィンストラップの長さを調整してください。



③フィンストラップをしっかりを持ち強く引き上げるようにストラップストッパーにもどします。

Plastic Fin

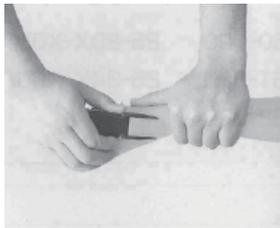
■ プラスティックバックルフィンの各部名称と脱着方法



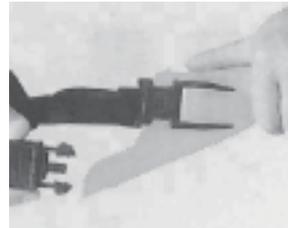
着脱：足をフットポケットに入れ、フィンストラップをかかとのやや上にかけます。

脱着：フィン・ストラップをかかとからはずし、足から抜きます。

👉 プラスティックバックルフィンには、凸バックルを凹バックルからはずす事ができ、フィンをはく場合や、ぬぐ場合に利用する事ができます。



①凸バックルの凹バックルにかかっている2ヶの突起部分を押し込みます。

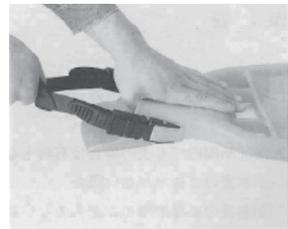


②2ヶの突起部分を指で押し込んだまま凸バックルを引き抜きます。

■ フィン・ストラップの長さの調節方法



①フットポケットにブーツをはいた足を奥まで入れ、フィンストラップの端を引き、左右均等の長さになるように調整します。(ゆるめる場合はストラップ・ストッパーを押します)



②ちょうど良い長さにしたらフィン・ストラップを引っ張り、ストッパーが固定されているか確かめます。

Seawing Nova

■ PIVOT CONTROL TECHNOLOGY

【ピボット（旋回軸）制御技術】

従来のフィン断面形状は、典型的に緩やかなカーブを描いているのに対して、シーウィングノバは明確なジョイント（クジラやイルカのような）を備え、ブレードはピボット（旋回軸）を基軸として作動します。この独創的な機構により、ブレード全体が推進力を発生しながらも、より抵抗が少なく無駄なエネルギーを浪費しないのです。

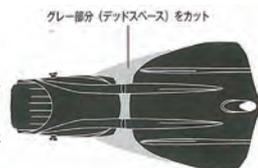
従来のパドルブレード型フィンは、キックすることでブレードが生まれる。端的に言うとなめらかなフィンは、穏やかにキックすれば理想的な45度の角度を保って推進力を発生しますが、強くキックし過ぎると折れ曲がってしまい大幅に推進力が失われます。逆に堅いフィンは、強くキックすれば45度にならず推進力を発生しますが、穏やかなキックではしなやかに足らず全く効率的ではありません。すなわちダイバーは「柔らかいフィンか？」あるいは「堅いフィンか？」、これまで妥協を迫られていたのです。しかしシーウィングノバなら、そんな妥協は一切必要ありません。スクューバプロ独自の「ピボット（旋回軸）」は、どのようなキックでも最適な角度を維持して、最大効率の推進力を発生するのです。



■ CLEAN WATER BLADE

【層流ブレード】

常型フィンのフットポケットとブレードの間に生じるデッドスペースは、ダウンキック時に推進力ではなく抵抗の発生源となります。古くからスクューバプロは、この点に注目してきました。今や伝説の域まで到達したジェットフィンは、ブレード付け根に大型ダクトを設けて水流をブレード下面に導くことで、デッドスペース解消に成功しました。さらにシーウィングノバでは、抵抗発生源となるデッドスペースを根本から廃したデザインを追求。ブレード全表面を綺麗に水流が流れる層流効果によって、抵抗は低減し推進力が大幅に増大します。



■ VARIABLE BLADE GEOMETRY

【可変ブレード形状】

ダイバーが強くキックするほど、シーウィングノバのフィン先端は弧を描くように形状可変して、ブレード表面を整流すると同時に、高速での安定性を増大させます。

■ ERG02 FOOTPOCKET with POWER PLATE

【パワープレート補強エルゴ2フットポケット】

高次元の人間工学に基づいてデザインされたシーウィングノバのフットポケットは、ダイバーの足に最高レベルの快適性を約束します。さらに踵の後方まで伸びた硬質パワープレートが、最小限の負担で究極の推進力を引き出します。

■ HIGH-TECH ELASTOMER CONSTRUCTION

【ハイテック高分子素材構造】

宇宙時代のエラストマー樹脂（高分子素材）は優れた技術的特長を備え、シーウィングノバは水中でプラスの浮力を持ち軽量でありながら抜群の耐久性も実現しています。

■ 注意事項

安全のために、以下の注意事項を必ずお守りください。

1. スキューバダイビングは、世界的に認知されている潜水指導団体が発行するCカードを取得し、正しい知識と技術を身につけてから行わなくてはなりません。
2. 製品の装着は、波の影響を避け、足場のしっかりした場所で行ってください。波がかかる場所では、事故につながる可能性があります。
3. フィンをいたま陸上で、歩き回ったり、走ったりしないでください。ケガや事故を招く可能性があります。フィンは水陸では使ってください。
4. エントリー前には必ず、以下の事項を確認してください。異常を認められた場合は、部品交換を行うか、別の製品をご使用ください。さもなければ製品の破損や脱落、バンドのゆるみ、水漏れ、呼吸困難などの原因となり、事故につながる可能性があります。製品全体および、フット・ストラップなどに傷や亀裂がないか確認してください。フィン・ストラップに傷や亀裂があると、フィンの脱落等のおそれがあります。他のフィンに交換してください。
5. フィン・ストラップが、バックルに裏表の両面はく確実に納まっているか確認してください。取っ付いていない場合は、必ず直してください。
6. フィンのフット・ポケットの対応サイズより大きなダイビングブーツは、使用しないでください。ドライスーツなど大きめのブーツを使用する場合は、ブーツの大きさに適合するフット・ポケットを備えたフィンをご使用ください。さもなければフィンが脱着し、足を傷めたり、適切な推進力が得られないなど、事故につながる可能性があります。エントリー前には、フィンのストラップがしっかりと止まっているか確認してください。ダイビング中にフィンが脱落すると、事故につながる可能性があります。



注意

スクューバプロのフィンは、ダイビングブーツをはいでご利用いただくフィンです。サイズの合ったダイビングブーツを必ずはいってください。素足ではくと、フィンの脱落やケガをする可能性があります。

■ アフターケア

安全で快適なダイビングのために、同時に本製品を長くご愛用いただくために、アフターケアに十分ご注意ください。

1. 使用後は真水で良く洗って塩分を取り除き、風通しの良い場所で日陰干しを行い、良く乾かしてから保管してください。塩分や水分が付いたままでは、劣化および変色の原因となります。洗浄時には、バックルや内部等も点検し、付着した海藻や砂などの異物を取り除いてください。
2. 化学薬品や中性洗剤の原液がついた場合は、すぐに水洗いをしてください。劣化、破損の原因となります。汚れを落とす場合は、水で薄めた中性洗剤などを使用し、その後十分に水洗いしてください。
3. フィンを乾かす時は、ブレードを下(地面側)にして立てかけないでください。ブレード変形の原因となります。フット・ポケットを下にして立て、壁などに寄りかけると、ブレードがそらぬようにしてください。
4. バックルをきちんと締めと保管してください。きちんと締めて保管すると、変形してバックルの機能が無くなる可能性があります。
5. 製品を長時間日光や紫外線に当てないでください。シリコンカバーを含め黒い色のゴム製品をお使いの場合、他の黒いゴム製品と一緒に保管すると、変色するおそれがあります。別々に保管すると、保管には十分配慮してください。黒いゴム製品は、それぞれを専用ケースやビニール袋に入れ、風通しの良い場所で保管してください。よく乾かすのを要せず、変形するおそれがあります。
6. ゴム製品は、ゴム部に白い粉が付着することがありますが、内部の油分が浮き出してきたもので、ゴムの老化を防ぐ働きがあります。ご使用には、なんら差し支えはありません。

■ 保証規定

1. 本取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ日より2年以内に当社の責任と見られる故障が発生した場合、日付・販売店の明記された製品保証書（本ページ下段）を本製品に添付したSCUBAPRO正規代理店までご持参またはお送りいただければ、無償修理または交換に応じます。ただし、そのための交通費または送料等はお客様のご負担とさせていただきます。
2. SCUBAPRO正規代理店から販売された製品に限らせていただきます。
3. 製品保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4. 保証期間中の修理、交換は、保証期間の延長にはなりません。
5. 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
6. 以下の場合は保証の対象外となります。
 - ・ 外部からの影響、たとえば運搬中の損傷、落下や衝撃による故障、気温などの影響、その他の自然現象による故障、置き忘れ、詐欺、横領等の事故の場合。地震、噴火などの天災によって生じた故障の場合。
 - ・ 保管の不備や手入れの不備。塩素水での使用、不適当な使用や、乱暴な取扱いが原因の場合。
 - ・ 当社以外で行われた修理・改造・分解による故障。SCUBAPROまたはSCUBAPRO認定技術者以外による修理やサービスに起因する故障。
 - ・ 製品保証書または購入店のレシートなどの確認書を添付されない場合。
 - ・ 通常のご使用による外観上の損傷、変化。
7. 本製品の故障に起因する付随的損害（たとえばダイビングに要した諸費用およびダイビング等により得べかりし利益の損失等）については補償いたしません。
8. 製品保証書は再発行いたしませんので、紛失さようご注意ください。
9. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。

※ 製品保証書は保証規定により無料修理または交換を約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ ご不明な点は、SCUBAPRO正規販売店までお問い合わせください。